

②では、公共施設のダウンサイジングと市民満足度の向上は同時に実現できるのでしょうか？

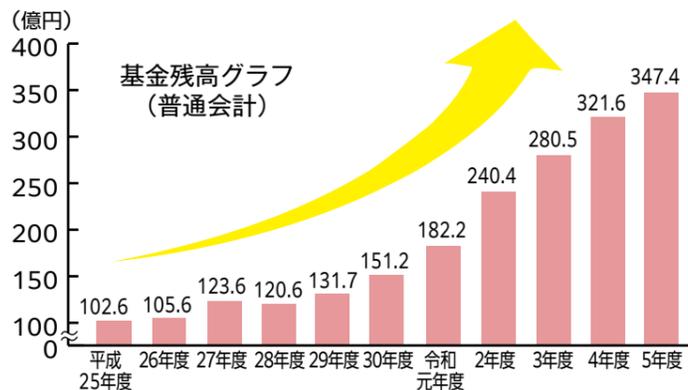


令和3年にオープンした「中央図書館」は、従前より床面積を約300㎡減らしましたが…

来館者数は倍となり、さらにオープンからわずか3年で100万人を突破しました！

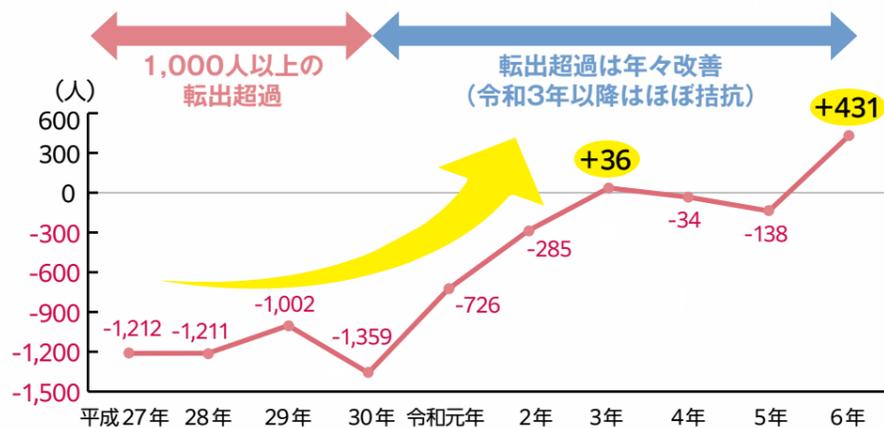
さらに、計画的に基金（市の貯金）の積み立てを行っています！

将来必要な公共施設の更新などに備えるために、これまでの市の貯金を倍以上に増やしています。



最近、市の「変化」の兆しを感じませんか？

◆市の人口の社会増減（転入者数と転出者数の差）グラフ



令和6年は転入が転出を大きく上回っています

平成27年から30年までは毎年1,000人を超える転出超過が続いていました。令和元年以降、転出超過は年々改善し、直近となる令和6年には、過去10年で転入人口が転出人口を最も大きく上回る431人の転入超過となりました。

寝屋川市はかつて50年前に…

15年間で20万人の人口増加があった
(増加率日本一！)

人口増加

人口増加



公共施設も足りなくなって、年に2か所学校を造るなど、急激に整備を進めた



子育て世代が急増

50年経った、いま…



市内の全ての公共施設が老朽化。更新に今後20年間で約1,900億円かかる



シルバー世代が急増。医療・介護サービスの需要が高まる

公共施設・都市インフラの危機

これが2つの危機

市民サービスの危機

対応する市のアンサー！

② 市民満足度を向上させつつ行う公共施設のダウンサイジング

① 子育て世代を増加させる

①では、子育て世代に選んで住んでもらうために何が必要なのでしょうか？

それは、「教育環境」です！



特色ある質の高い教育

論理的思考を育てる「ディベート教育」

他市では見られない欧米型のディベート教育を行っており、全国の学力調査で市立小学校・中学校ともに成績の上昇が顕著です。



安心して学べる教育環境

いじめの無い環境

いじめを即刻停止させる監察課は、国や海外から注目を集めており、寝屋川市の仕組みが全国に広がりつつあります。



企画一課 (0825・2016)

市長市政運営方針
演説(要旨)

令和7年度の市の方針



この1冊で「市の15年一貫教育」の全てがわかる！

問 保育課 (☎ 812・2552)

小中学校の「ディベート教育」とそれにつながる「エージェンシー型就学前教育」など、市独自の0歳から15歳まで切れ目ない特色ある「15年一貫教育」を体系的に示したガイドブックを発行します。



本のひみつ基地！子どもが“遊べる”図書館

問 中央図書館 (☎ 800・3711)



子どもを一時的に保育できない場合の一時預かりなど、子育て支援の機能がある図書館を寝屋川市駅前のアドバンスねやがわ2号館に設置します。

令和7年度の 主な取組

能登半島地震の被災地に派遣された職員の声から挙がった、避難所の3つの課題に対応！

市民の命を守る飲料水を確保！

問 防災課 (☎ 825・2194)

災害時の断水に備え、市民の命を守る飲料水を確保するため、災害対策用の井戸などを設置します。



災害時にも対応した エアコン！

問 施設給食課
(☎ 813・0073)

より良い教育環境を確保しつつ、災害時に安心して避難できる環境とするため、市立小学校の体育館に災害時でも対応可能なエアコンを設置します。



避難所の トイレを清潔に！

問 防災課 (☎ 825・2194)

避難所のトイレ環境の充実を図るため、約4万人が避難しても、発災直後から3日間使用できる、凝固剤と便袋を追加で配備します。



何歳からでも筋肉は付く！シルバー世代の筋力アップに市を挙げて取り組みます！

問 保健総務課 (☎ 829・7771)
健康づくり推進課 (☎ 812・2374)

健康寿命の延伸のため、市を挙げて中高年世代の筋肉量や筋力を維持・向上させるため、生活の中での身体活動や運動、食生活改善により、生活の質(QOL)を劇的に変化させる支援をします。



打上川治水緑地をリニューアル！「地下水の天然プール」が誕生!?

問 都市四課 (☎ 824・1181)

子どもたちの水遊びの場を確保するため、打上川治水緑地の小川が流れるせせらぎ広場に、天然の地下水を利用したスライダーを設置するなどのリニューアルを進めます。



ボール遊びができる公園が学校の放課後に登場！

問 社会教育推進課 (☎ 813・0075)

子どもたちの外遊び離れが進む一因である「子どもたちがボール遊びできる場所がない」問題を解決するため、毎日平日の放課後に市立小学校の校庭を開放します。



全国的な問題「親なき後問題」を解決へ！

問 障害福祉課 (☎ 838・0382)

障害者の「親なき後問題」に対して、単に生活基盤を整えるだけでなく、これまで「家族が大切にしてきたこと」や「我が子が大好きなもの」など、幸せに生活してもらうための「親の愛情」を次の支援者に引き継ぐバトンとしてのツールを作成します。



アドバンスねやがわの屋上が芝生広場に！

問 都市四課 (☎ 824・1181)

アドバンスねやがわ1号館の屋上を、あらゆる世代がスポーツ・レクリエーション活動ができる多機能な芝生広場として整備を進めます。



令和9年オープン！市民の活動拠点となるセンター

問 社会教育推進課 (☎ 813・0076)

市内全域からの利用が見込まれる「生涯学習の中核機能」と、中央高齢者福祉センターの「中核施設としての機能」を融合し、多世代が利用・交流できる施設をアドバンスねやがわ1号館に整備します。

